

「天気で元気！」のキャッチコピーを旗印に、常に農家・漁師等第一次産業従事者に元気を与え続ける事が、人生の夢と語る、気象情報システム(株)社長高津敏氏にお話を伺った。

農業... 消費者として、気象情報に携わる農家の仲間として、土地に合った本物の身体に良い作物を作って欲しい。昔からやっているから、どうにか売れているからというのはもう通用しない。農業は厳しい状況にあるが。地産地消・スローフード等本物を求める人というのは根強くいるもの。全員に合った物と思うから平均的で薄れてしまう。そんなに売れなくても、自分の顧客に本物を提供し続ける。我々農家が、日本人(顧客)を食わせなくてどうするという気概と意気をもって、作物に魂を入れてもらいたい。

情報... 農家にしろ農協にしろもっと情報公開してもらいたい。たとえば、私はこういう所でこんな物を作っている。私のダイコンは、こんな思いで作っている、だから同じダイコンでもひと味違うよ、食べてよということをアピール。また、私は東京のJA だけど埼玉のJA とここが違う。我々は、首都圏の消費者にこういう思いで野菜を作って皆さんの期待に応えようと努力しているという事を、情報として出して欲しい。東京人だって、値段的に千葉の方が安いとなれば千葉の物を買います。価格だけでなく、地付きのものは、これだけ身体に良いんだとかそのために丹精して作っているんだとキチント言ってもらえば、我々に伝わる。毎日それを買うかどうかは、分かりませんが皆でゆっくりする時とか、来客時には地のものを買うということになる。そういった情報を、我々消費者は心待ちにしている。

野菜... 現代人の3分の1はうつ病と言われています。もちろん時代環境もあるが、日々食する食べ物にも原因がある。食べ物に栄養が無くなっている。今の白菜には、ビタミン・ミネラルがほとんど入っていない。農協さんには、うちのハウレン草・トマトはどこのよりもビタミン・ミネラルが豊富だよということを胸を張って言えるようになってもらいたい。そうになると、黙っていてもみな行列になります。昔我々の子供の時の野菜はそれぞれ特徴があって美味しかった。今の野菜には命が入っていない。

不景気・デフレといわれているが眠っているお金は沢山あります。本当に健康に良いとなれば、我々団塊の世代は自分のために幾らでも投資します。そのためには、アピール・情報公開が必要です。

これは、協同組合通信へのお願いです。話題散策ということでイベント紹介も大切ですが、あそこのJA のハウレン草は栄養豊富で美味しいよとか、あそこのJA は本気で野菜作りに努力しているよと言った、目立たない努力をしているJA にスポットライトを当てる報道を特にお願いしたいですね。

以 上